



# 12月の園だより

令和7年12月1日  
目黒区立不動保育園園長

林試の森公園では色とりどりの落ち葉や木の実が地面を彩り朝晩、風が冷たくなり冬の訪れを感じられますが、子どもたちは元気に戸外遊びを楽しみ自然に親しんでいます。2歳児クラスが拾ってきたドングリを大事にビニール袋に入れて保管していると、何やら白い物が生え始めました。保育士もなんだかわからず育ててみることになりました。白い物は芽なのか、根なのか保育士もワクワクしながら観察中です。いくつになっても知らないことはたくさんあり、自然物を育てる楽しさを改めて大人も感じられています。

今年度も「ふゆのこどもかい」はクラス入れ替え制で行います。先日3.4.5歳児クラスの子どもたちは、他のクラスの劇を見合い「どうだった」と保育士に聞かれると「おもしろかった」と感想を伝え、子どもたちはすぐに歌を覚え、劇中歌も一緒に口ずさんでいました。たくさんの刺激をお互いもらい、より頑張ろうとする姿も出てきています。初めて参加する3歳児クラスは、恥ずかしさや緊張から友達と手をつなぎ励まし合いながら協力している姿がとても初々しく、4歳児クラスは、猫とあほうどりになりきって登場し台詞や歌をうたう姿は頼もしく、5歳児クラスは自分の役を演じ進めています。合奏も年下の子どもたちからの憧れで「大太鼓やりたい」と声が上がり来年を楽しみにする様子がかえります。どのクラスも子ども同士協力しながら進める姿に成長が感じられます。ご参加お待ちしております。



ふゆのこどもかい(3, 4, 5歳児クラス)

★3, 4, 5歳児クラス保護者参加の行事です。

乳児お楽しみ会

中旬

避難訓練(全園児)

身体計測(全園児)

※12/28(日)～1/4日(日)まで保育園はお休みです。

## 絵本とのふれあいの様子



### 0歳児クラス 《スズラン組》

クラスには子どもたちも扱いやすい厚めのページの絵本があります。ページをめくる面白さや絵柄の変化を楽しみながら、次へ次へと小さな手で一生懸命にページをめくっていきます。写真が載った絵本を指差して「た！(これなあに)」と保育士に尋ねてきます。「パンだね、おいしそう」と保育士がつまんで食べる真似をすると子どもたちも「あむっ」と食べる真似をして嬉しそうです。また、絵本を読み終わりページを閉じると「もっかい！」と繰り返して一緒に見るのを楽しんでいます。

絵本を通した言葉のやり取りを楽しむ中で、保育士との思いが通じ合う経験をたくさんしていきたいと思います。

### 1 歳児クラス 《チューリップ組》

子どもたちと絵本を読み始めると、「とけいになります、ぼーん、ぼーん…」と、保育士より先に口ずさみながら楽しんでいます。絵本に出てくる“おばけ”に興味を持った子どもたちは「おばけ、きた」と部屋の大きな棚の中に逃げ込みます。「どあ、しめる」とハンカチのドアをつけて「がちやがちや」としっかり鍵も閉めて、「おばけにみつからないかな」と友達とクスクス笑いながら隠れ、怖いような楽しいような気持ちを共有しながらのおばけごっこが大好きです。また、絵本の中のどろぼうの真似もするようになり、巾着におもちやを詰め込んで肩にかけ、そろりそろりと歩く姿もいいです。絵本を通して興味を広げながら保育士や友達とイメージを共有して遊んでいきたいと思っています。

### 2 歳児クラス 《タンポポ組》

動物たちがサーカス団になる絵本が人気です。ライオンが行う火の輪くぐりを再現をし、楕円に繋がったブロックにライオンの人形をくぐらせて楽しそうに遊んでいると隣にきた子はワニの人形をくぐらせます。「ワニはピラミッドつくるんだよ」「ん〜…ワニも(くぐって)いいじゃん」というやりとりの後、絵本に出てこない動物もどんどん持ってきてくぐらせ始めました。友達の姿を見て絵本のイメージを持ちながらも一緒に遊びを広げる姿がありました。保育士や友達も一緒に遊ぶ中で自分とは違うイメージがあることに気付いていきながら、友達と遊ぶ楽しさも感じられるようにしていきたいと思っています。



## ふゆのこどもかい、取り組み

### 3 歳児クラス 《コスモス組》

「どうぞのいす」という絵本を紙コップシアターにして出しました。最初は絵本を保育士に読んでもらいながら紙コップを動かして楽しんでいましたが、「次にろばさんがきました。」「パンを持ってきつねさんがくるんだよね」と自分たちでお話を進められるようになりました。紙コップシアターで色んな役を交代でやるうちに、「椅子を作るうさぎさんがやりたい。」「ぼくはちみつを持って行きたい」などと話しながら劇での役が決まりました。劇遊びの最初は緊張してどう動いていいのかわからずもじもじする姿もありましたが、保育士や同じ役の友達と繰り返し遊ぶ中で自分の出番になると「一緒に行こう」と手を差し出し、友達の手をぎゅっと握りながらも嬉しそうに出てくる姿に変わりました。劇遊びを重ねていく中で、友達の役も把握し「ふりふりふり・・・」と自分の役以外の台詞も口ずさむ姿になっていきました。保育士や友達とたくさん絵本の世界を一緒に楽しんでいきたいと思っています。

### 4 歳児クラス 《マーガレット組》

「11ぴきのねこ」には様々なシリーズがありますがその中でも子どもたちが一番好きな「11匹のねことあほうどり」という劇をします。子どもたちと本の話をしていると「11ぴきのねこなのにマーガレット組は10人しかいないよ」という意見もあり、子どもたちのアイデアを生かし足りない分のあほうどりを大道具で登場させることにしました。役を決める前にどちらの役もやってみて自分で役を決めましたが、みんなで一緒に歌う「コロッケばっかりもうあきた〜コロッケばっかりもういやだ〜おいしい鳥の丸焼きが〜たべたいな、たべたいな」という挿入歌は元気よく友達とニコニコと顔を見合わせながら歌っており、劇の遊びの楽しさを感じさせてくれています。イメージしたものを友達と共有する楽しさや一緒に活動する楽しさを感じられるよう、進めていきます。

### 5 歳児クラス 《ヒマワリ組》

「どろぼうがっこう」の劇遊びをすることになり、はじめに保育士が演じて見せました。子どもたちは「がってんでござんす」など自分のお気にいりのフレーズを見つけ、保育士の演技と一緒に被せながら嬉しそうに言っています。園庭でもこの劇遊びをきっかけに、「どろぼうごっこしよう」と泥棒と警察に分かれて鬼ごっこで遊んでいます。捕まると「残念無念」等とここでも絵本の世界に入り込みながら楽しんでいました。こうして自然に体に馴染んできたセリフを劇で友達同士でやりとりしながら最終的に自分で役を決めました。緊張で流れが抜けてしまう時は、友達同士小さい声で教え合い助け合う姿にも成長を感じています。これからも「面白そうだからやってみたい」「友達とイメージを共有しながら遊ぶ事が楽しい」と意欲が湧く活動を大事にしていきたいと思っています。